



# 異文化介護通訳を考える

今回のセミナーは、最近、少しずつ認識され始めてきた外国人高齢者問題の中のコミュニケーションをとりあげ、この問題が認識されるきっかけとなった「外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト」の取組を踏まえ、今後の外国人高齢者介護における多様性や気づき、多言語通訳への対応策などについて話し合い、日本人も外国人も安心して老後を暮らせる地域社会のあり方について、参加者とともに考えていきます。

## 日時

2019年10月19日(土)  
13:30~16:30

## 場所

あいちNPO交流プラザ

名古屋市東区上笠杉町1

愛知県女性総合センター(ウィルあいち)2階

## 定員

40名(参加無料)

## 問合せ・申込先

kaigotuyaku2015

@gmail.com

(外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト事務局)

I セミナー開催の趣旨説明～外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクトを踏まえて～

II 基調講演「医療通訳から介護通訳を考える」

講師 小笠原理恵(大阪大学大学院助教授・医療通訳士協議会事務局長)

III ディスカッション

主催:多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)  
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト

後援:愛知県、名古屋市、(公財)愛知県国際交流協会、(公財)名古屋国際センター  
NPO 法人地域と協同の研究センター

◎現在、愛知県内には、東京都に次いで2番目に多い24万人の外国人が住んでおり、年々、増加してきています。また、外国人高齢者の増加率は日本人11.71%に対して、21.98%と全国6番目に高く、増え続けています。そこで、こうした変化し続ける外国人高齢者における新しい動きを伝えるとともに、共生社会の時代における異文化介護をどう支えていくかを考えるために、これからもセミナーを開催していきます。